

企画展

から
唐ものがたり え
画あり遠方より来たる

香雪美術館の中国絵画

Treasures from across the Sea

: Chinese Paintings in the Collection of the Kosetsu Museum of Art



まとまった形で紹介されたことがなかった中国絵画コレクションを一堂に !!

中国から海を越えて、はるばる渡ってきた絵画は、^{からえ}「唐絵」^{からの}「唐物」として珍重され、寺院や将軍家、大名家の^{とこ}床などを飾ってきました。

朝日新聞の創業者で美術コレクターでもある^{りょうへい}村山龍平（1850～1933）は、中国、朝鮮半島から日本にもたらされた絵画を収集していました。その内容は、人物画に始まり、鳥や植物を描いた花鳥画、風光明媚な山々や水辺に遊ぶ人物を表した山水画などで、作品のほとんどが「^{なかわた}中渡り」といわれる、江戸時代までに日本に渡ってきたものです。

本展では、これまでまとまった形で展示されることがなかった香雪美術館の中国絵画を一堂に公開し、付属する鑑定書や墨書のある箱などとともに紹介します。さらに日本の絵師たちが中国絵画を参考に描いた室町時代以降の作品もあわせてご覧いただきます。今回の展覧会では①人物画②花鳥画③山水画にわけて、初公開を含む合計 29 件を展示します。

第1章 人物画

人物画の筆頭にあげられるのは元時代の画僧・因陀羅^{いんだら}が描いた「維摩居士図」^{ゆいま こじ}（重要文化財）です。寒山、拾得^{かんざん じつとく}をはじめ禅宗に関係する人物画が多い因陀羅作品の中で、仏教の在家信者である維摩居士を描く唯一の作品。ざっくりと大まかな形のみをとらえた粗い筆致が特徴です。このほか、唐時代の禅僧である布袋^{ほとい}や蜆子^{けんす}、法華経を広めるために現れたとして信仰された魚籃^{ぎょらん}観音などを描いた作品も展示します。



② 重要文化財 因陀羅 維摩居士図
元時代（14世紀）



① 伝銭舜举 魚籃観音図
明時代 正徳8年(1513) 賛



③ 伝蒋子成 松下布袋図
明時代（15～16世紀）
初公開



④ 伝梁楷 蜆子和尚図 元時代（14世紀）
初公開

第2章 花鳥画

四季の存在する東アジアでは花々が季節ごとに移ろいを見せ、飛び交う鳥、野山を駆け回る動物たちが、私たちの目を楽しませてくれます。それらの情景を描く花鳥画は、中国絵画においてそれほど格の高いものではありませんでした。しかし、北宋時代（10 世紀）に絵画制作専門の「画院」が設けられ、水準の高い作品が多く作られるようになりました。明時代（15 世紀）になると華麗な花鳥画が描かれるようになっていきます。

香雪美術館の中国の花鳥画には、画面が大きく複数幅セットになった作品が見られます。このような作品は、寺院や大名家などの大きな床を飾ったと思われます。この章では花や鳥を描いた花鳥画を中心に、蟹や鯰などの魚介や馬といった動物を描いた作品も含め、その魅力を紹介します。



⑤ 伝徐熙 梅鷺図 明時代（15～16 世紀）



⑥ 伝呂紀 花鳥図 明時代（16 世紀）



⑦ 伝徐熙 蓮池水禽図 明時代（16～17 世紀）



⑧ 伝夏珪 鯰図・蟹図 室町時代（15 世紀）



第3章 山水画

山河とともに、そこを行きかう人々や家屋などを描いた山水画は、北宋時代（10世紀）以降に名作が多く生まれました。馬遠^{ばえん}や夏珪^{かけい}、玉潤^{ぎょっかん}（いずれも生没年不詳）など、日本において室町時代（15世紀）以降の山水画にも大きな影響を与えた画家たちが活躍しました。

村山龍平の中国絵画コレクションは、明治42年（1909）の『古書画仮目録』^{こしょがかりもくろく}によって、そのおおよそを知ることができます。それによると、総数53件の内訳は、人物画19件、花鳥画22件、山水画12件となりますが、これら全てが現存しているわけではありません。特に山水画はほとんど残っておらず、2件が確認されるのみです。この2件は馬遠、夏珪と伝承されますが後世に制作されたものです。しかし、図様や構図、ほかに伝わる作品などとの比較から、彼らが描いたとされる伝承作品が、単なる有名画家の名を冠するだけでなく、後世にどのように認知され、評価されたのかを知ることができます。さらに、中国絵画の人気の高まりとともに、日本人絵師たちが中国絵画を参考にして同種の作品を描き上げました。ここでは、室町時代に活躍した画僧・祥啓や、同種作品に対して積極的に取り組んだ狩野派の作品も見てみます。



⑨ 伝馬遠 踏歌図 明時代(14～15世紀)



⑩ 伝夏珪 山水図 室町時代(15～16世紀)

作品画像貸出一覧



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

- ① 伝銭舜孝 魚籃観音図 明時代 正徳8年(1513) 賛
 ② 重要文化財 因陀羅 維摩居士図 元時代(14世紀)
 ③ 伝蔣子成 松下布袋図 明時代(15～16世紀) 初公開
 ④ 伝梁楷 蜨子和尚図 元時代(14世紀) 初公開
 ⑤ 伝徐熙 梅鷺図 明時代(15～16世紀)
 ⑥ 伝呂紀 花鳥図 明時代(16世紀)
 ⑦ 伝徐熙 蓮池水禽図 明時代(16～17世紀)
 ⑧ 伝夏珪 鯰図・蟹図 室町時代(15世紀)
 ⑨ 伝馬遠 踏歌図 明時代(14～15世紀)
 ⑩ 伝夏珪 山水図 室町時代(15～16世紀)

開催概要

会 期

2023年6月17日(土)～7月30日(日)

休 館 日

月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

開館時間

10時～17時(入館は16時30分まで)

夜間特別開館

6月22日(木)、7月20日(木) 19時30分まで開館(入館は19時まで)

料 金

一般1,200円(1,000)円、高大生700円(500)円、小中生400円(200)円

◎()内は前売り(一般のみ)、20名以上の団体料金

◎ 前売券は6月16日まで中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンターで販売しています。

主 催

公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社

会 場

中之島香雪美術館

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階

TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190

Twitter@kosetsu_museum

講演会

講演会①

【テーマ】

「唐絵」－中近世日本に伝来した中国絵画

【講 師】

いたくら まさあき

板倉 聖哲 氏(東京大学東洋文化研究所 教授)

【日 時】

7月1日(土) 14時～15時30分

(受付開始13時30分)

講演会②

【テーマ】

イメージの増幅－中国絵画と狩野派の場合－

【講 師】

のだ あさみ

野田 麻美 氏(神戸大学大学院人文学研究科 専任講師)

【日 時】

7月29日(土) 14時～15時30分

(受付開始13時30分)

【会 場】 中之島会館(中之島香雪美術館隣)

【参 加 料】 500円(展覧会観覧ご希望の方は、別途入館券をご購入ください)

【定 員】 120名(予定)

【応募方法】

ウェブサイト

当館HP上の専用フォームからご応募ください。

往復はがき

1通で2名様まで応募可能。①か②どちらを希望なのかと参加人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所・氏名をご記入ください。返信ハガキで参加証を郵送します。

【宛先】〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階
中之島香雪美術館「唐ものがたり」展 講演会係

FAX: 06-6210-4190

取材・写真使用申込書

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

(西暦) 年 月 日

取材について

取 材 者	フリガナ	フリガナ
	会社名	担当者名(連絡者)
	住所 〒	TEL
		FAX
	E-mail	取材人数 名
取材希望日時	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
媒 体	種別 ☐ テレビ ☐ ラジオ ☐ 新聞 ☐ 雑誌 ☐ その他()	
	番組名・コーナー名	
放送・発行日等	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
取 材 の 範 囲	☐ す る (撮影機材 ☐ スチール ☐ ENG ☐ DVC) 撮影 ☐ しない	
備 考 特に取材したい場所・内容等		

写真使用について

プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作 品 画 像	中之島香雪美術館 館 内 画 像
---------	---------------------

注 意 事 項

- ・企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に中之島香雪美術館広報担当宛に確認のためお送りくださいますようお願いいたします。
- ・掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。
- ・画像の名称(作品名)、指定、展示期間、所蔵元、クレジット(ある場合)を記載してください。
- ・サイズは、(web掲載用)長辺 1000px 100dpi (紙媒体用)長辺 1000px 300dpi まで。
- ・ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長6ヶ月とし、その後は削除をお願いします。それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。

報道関係のお問い合わせ

「中之島香雪美術館」 広報担当

TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4階